

<学校名> 吉川市立三輪野江小学校

<所在地> 吉川市加藤 6 4 1

<電 話> 0 4 8 - 9 8 2 - 2 3 3 0

吉川市立

三輪野江小学校

Miwano Elementary School



<本事例の特徴>

本校は現在 7 名の外国籍児童が在籍しており、年々その数は増加傾向にある。明治6年に開校以来 1 5 0 周年を迎えた今年、様々な異文化交流を通じて多様性を学ぶことは、これからの将来にとっても極めて有意義な取組になったことが、児童たちの感想にも表れている。

<具体的な取り組みや成果>

2023 年 11 月 7 日 (火)

○小学校外国語科 『ニューホライズン・エレメンタリー6年』のUnit6では「食」をテーマに栄養や食品の生産地等、さまざまな角度から「日本と世界の食のつながり」を学習する。そこで、世界の食文化について話を伺うために、吉川市市民参加推進課の紹介で、イリアス・ヴァフィアディス氏を外部講師として招聘した。



本市の「国際友好協会」に登録しているイリアス氏は、ギリシャ生まれのアメリカ人で、大学でコンピュータを学ぶためにアメリカに移住。現在は、吉川市に在住である。

○身近なハンバーガーショップの話から、日本との食生活の違いについて具体的に紹介していただいた。6年生では10月にUnit5の学習で、SDGsについて学んでいる。日本だけでなくギリシャやアメリカのフードロスについても話を聞き、児童はフードロスが日本だけの問題ではないことを知り、広く世界に目を向けることができた。

○アメリカの一般的な家庭の暮らしを、写真や動画を使った資料提示で、とても分かり易く紹介していただいた。ギリシャの文化に触れ、児童はイリアス氏の話に驚いたりうなずいたりするなど、興味深く話を聞き、さらに外国への興味関心を高めることができた。



<児童の感想より> (一部)

ギリシャという国は、日本と同じように海に囲まれていて、シーフードが好まれているということを初めて知った。いつかギリシャに行き、イリアスさんの案内で美味しいタコ料理を食べてみたいと思った。ギリシャ人は日本人と同じようにタコを食べるのに、アメリカ人は食べない人もいるとのこと。とても驚いた。

イリアスさんの英語の発音がとてもきれいで聞きやすかった。ハンバーガーの注文の仕方がわかり、とてもためになった。いつかアメリカでビッグサイズのハンバーガーを注文して、食べてみたいと思った。

オリンピックがギリシャから始まったなんて知らなかった。それにマラソンの距離が王女の都合で40kmから2キロ以上も延びたとのこと。本当におもしろい話です。
(※諸説あり)

<授業を終えて児童の変容>

- 普段の外国語の授業で慣れ親しんでいるすごろくゲームをイリアス氏と一緒に行った。イリアス氏に英語で、家族の人数や趣味などを尋ねる活動を通して、英語でやり取りをすることに自信を持てるようになった。
- 今年度本校へ配置されているALTはフィリピン出身であるが、ALTの話す英語とイリアス氏の話す英語の発音が少し違うことに気づいた児童もいた。通常の授業でのリスニングの活動を通して、児童の聞き取る能力を育成することができていることが分かった。今後も、様々な人と触れ合う機会を設けることは、児童の世界への興味・関心を高めるだけでなく、英語力の育成に有効であると考えます。
- イリアス氏との活動を通して、世界には「さまざまな英語発音」があり、それが「共通語」としてコミュニケーションのツールになっていることを児童が実感することができた。もっと英語を話したいという気持ちの高まりが見られた。